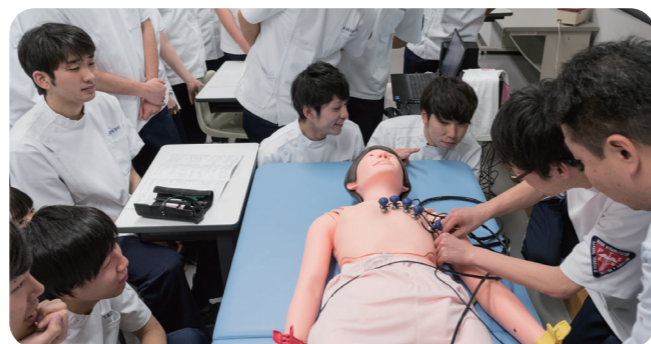


確かな知識と技能を身につける

専任教員は5年以上にわたり医療機関で勤務経験が必要で、全員が卒業生です。4名の博士号取得者、6名の修士号取得者が在籍し、専門分野での高度な能力を生かして、教育力の向上に努めています。手厚い指導によって心豊かな理学療法士を育成しており、工夫を凝らした授業内容は全国学会で表彰されています。



最新の教育設備で学ぶ

社会ニーズに即し、病院などと同等の最新設備を更新しています。実践的な患者シミュレーターによるバイタルサイン測定や、筋力・体力測定、多様なマシンを使う運動学実習のジムなどを完備しました。また、スポーツトレーナーへの進路に対応し、マラソン選手が行う高地トレーニングを再現できる人工気象室も備えています。



動画配信中
高知リハ



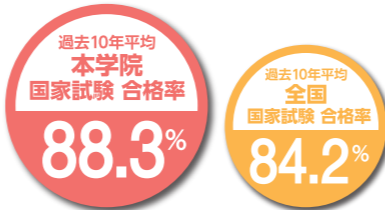
全国に連携施設、安心の臨床実習

卒業した先輩方が勤務している全国の先進的なリハビリテーション施設と連携した臨床実習を行っています。実習の指導者との緊密な連携によって、個々の学生に応じた学習内容を提供しています。全国の連携施設は110施設ほどで、県内は45施設ほど。急性期、回復期、生活期など、多分野での実習経験が可能です。



国家試験合格への充実した指導

理学療法士養成課程は勉強する範囲が広く難易度も高いため、各地の養成校で単位未修得による留年が少なくありません。しかし本学院では4年間で卒業した学生が91.2%(10年間平均)、国家試験合格率は**88.3%**(10年間の全国平均は84.2%)といずれも全国トップクラスです。



最新実習設備の紹介

フィジカルアセスメントモデル「フィジコ」

呼吸音や心音の聴診、血圧測定、脈診、心電図といったバイタルサインをモデルの人形で測定する最新機器「フィジコ」を導入しています。基本技術を学ぶとともに、肺炎などの症例を設定した模擬患者として実習もでき、実践的です。



動画配信中
高知リハ

理学療法士が活躍する場

理学療法士が活躍する場の約8割が医療機関で、医師の指示のもとで患者さんに理学療法を行っています。今後は在宅介護が増えることもあり、介護・福祉のフィールドにも活躍の場が広がっていきます。

